

仙山線は “交流電化発祥の地” です。

昭和32年9月、仙山線で日本初の交流電化による営業運転が始められました。そこに至るまで仙山線では交流電化に関わる様々な試験が行われ、交流の電気機関車は、従来にない高い性能を発揮することが分かりました。その成果は今日の新幹線技術の基になっています。昭和39年の東海道新幹線開業以来、国内に順次新幹線が延び、昭和57年には東北新幹線が大宮まで開業しました。我が国で生まれた新幹線の技術に触発されて、今や高速鉄道網は世界の国々に広がっています。

その出発点が仙山線だったので。仙山線の交流電化試験関連施設は産業遺産です。



日本で一番高いトレスル橋（熊ヶ根鉄橋）を渡る交流電化試験車両E D45 1 (撮影：松野匡雄)



今年は、仙山線交流電化営業運転開始から55周年 仙山線全通から75周年！

*ED91 11は交流試作電気機関車で(ED45 11より改番)、のちに仙山線で活躍しました。現在は利府町森郷児童公園に静態保存されています。

仙山線作並駅に設置されている「交流電化発祥地」の記念碑

企画展「仙山線と鉄道遺産」関連企画
仙山線鉄道遺産シンポジウム

新幹線は

仙山線から

始まった

主催：東北福祉大学・鉄道交流ステーション

後援：宮城県教育委員会

仙台市教育委員会

河北新報社

（社）交通環境整備ネットワーク

協力：JR東日本仙台支社

再来年（平成26年）は
東海道新幹線開業から50周年



*駐車場はありません。
JR 仙山線仙台発
13:05 愛子行き
が便利です。

【シンポジウム】

□基調講演 講師・松野匡雄氏

（元作並機関区交流電化試験班技術助役）

□パネル討論

・松野匡雄氏

・米山淳一氏（地域遺産プロフェッサー）

元（財）日本ナショナルトラスト事務局長

・村山雅史氏（JR東日本仙台支社設備部工事課長）

・後藤光亀氏（東北大学准教授）

（社）土木学会選奨土木遺産選考委員会委員

（進行）佐藤茂（みちのく鉄道応援団代表幹事）

平成24年7月7日（土）

午後1時30分より（開場は1時）

入場無料（予約不要）

【会場】東北福祉大学ステーションキャンパス

3階・研修室（JR仙山線・東北福祉大駅下車すぐ）

／市バスは、国見ヶ丘方面行き

「JR仙山線・東北福祉大前駅」下車

【問合せ】鉄道交流ステーション

電話：022（728）6612

仙台市青葉区国見1丁目19の1

